

Fight!
Fukushima!

がんばろう
ふくしま!

週刊 避難者応援情報紙

浜通り

3月8日発行
Vol.586

さんじょうライフ



皆様の生活する上での不安や疑問を少しでも解消していただくための情報紙として、毎週お届けします。

目次

- 「みなみそうまつピックス」から
 - ・巣立ち応援卒業おめでとう撮影会 ----- 2
 - ・新型コロナワクチン接種協力医師への感謝状贈呈 ----- 2
 - ・新潟県立大学の学生および生活協同組合コープデリにいがたによる児童クラブ交流活動 ---- 3

●被災自治体News

- 南相馬市 ----- 4
- 浪江町 ----- 6
- 双葉町 ----- 8

●全国健康保険協会（協会けんぽ）

- ・東日本大震災に係る全国健康保険協会の令和5年3月1日以降の対応について ----- 13

●三条市News

- ・東日本大震災 黙祷及び献花 --- 14

3/1

水

南相馬市HP

「みなみそうまつピックス」から

巣立ち応援卒業おめでとう撮影会

市では、令和4年度から「巣立ち応援18歳祝い金支給事業」を実施しており、その一環として、プロの写真家による記念撮影イベントを市民情報交流センターで開催しました。



2ページをご覧ください。

3/1 水

巣立ち応援卒業おめでとう撮影会

市では、令和4年度から「巣立ち応援18歳祝い金支給事業」を実施しており、その一環として、プロの写真家による記念撮影イベントを市民情報交流センターで開催しました。

当日は卒業式を終えた高校生が来場し、友人や家族とともに写真撮影にのぞみ、参加者からは「とても良い記念になった」などの声が聞かれました。

ご卒業おめでとうございます。



2/24 金

新型コロナウイルスワクチン接種協力医師への感謝状贈呈

令和3年7月からこれまで、集団接種会場での問診や経過観察、小児および乳幼児接種に従事いただいた市外医療機関などに所属する医師の皆さまに対し、2月24日、市役所で感謝状の贈呈を行いました。

当日は、相馬市新型コロナウイルスワクチン接種メディカルセンター長の渋谷健司氏と帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授の高橋謙造氏の2人に代表としてご出席いただき、門馬市長から感謝状を手渡しました。受贈者は全員で9人となります。



3/2 木

新潟県立大学の学生 および 生活協同組合コープデリにいがた による児童クラブ交流活動

本市と子どもの福祉・教育などに対し連携協定を締結している新潟県立大学の学生と、生活協同組合コープデリにいがたの組合員が、3月2日、市内児童クラブを訪問し、児童と交流活動を行いました。新型コロナウイルスの影響で3年半ぶりの活動となりました。

新潟県立大学は、東日本大震災後の2011年度から継続して本市の児童クラブとの交流活動など支援をいただいております。2014年度には子どもの福祉・教育名との分野で連携・協力するため、本市との協定を締結しています。

当日は、同大学人間生活学部子ども学科の植木信一教授と学生19人、生活協同組合コープデリにいがたの組合員9人が現地を訪れ、グループに分かれて市内12カ所の児童クラブで子どもたちと交流しました。そのうち上町児童クラブでは、コープデリにいがたの組合員が子どもたちにおやつをあげ、大学生が絵本「かわいそうなぞう」を読み聞かせた後、食育クイズなどで交流を深めました。





南相馬市からのお知らせ

住民票の除票および戸籍附票の除票の保存期間について

3月1日HP更新

住民基本台帳法施行令の一部改正（令和元年6月20日施行）により、平成26年6月20日以降に消除または改製された住民票および戸籍の附票の除票の保存期間が、5年間で150年間に延長されました。

平成26年6月19日以前に消除または改製したのものについては、保存期間が5年間のため発行することができませんのでご了承ください。

問い合わせ

市民生活部 市民課 窓口サービス係

TEL 0244-24-5235

平日窓口延長及び休日窓口開庁の実施について

3月7日HP更新

3月下旬から4月上旬は窓口が大変混雑し、手続きに時間がかかることから、混雑緩和と開庁時間帯に窓口へ来られない方のため、窓口延長・休日開庁を実施します。

とき

■平日の窓口延長

3月27日（月）～30日（木）と4月3日（月）～7日（金）

午後5時15分～7時（住所異動の受け付けは午後6時30分まで）

■休日の窓口開庁

3月26日（日）と4月1日（土）

午前8時30分～午後3時（戸籍届出の受け付けは午前8時30分～午後5時15分）

ところ

市民課、小高区と鹿島区の市民総合サービス課

対応業務

- 住所異動届の受け付け
- 各種証明書の交付
- マイナンバーカードに関する手続き など

注意 広域交付住民票は対応できません。

特例転入は前市町村での転出タイミングによっては対応できない場合があります。

問い合わせ

市民生活部 市民課 窓口サービス係

TEL 0244-24-5235

避難指示区域別居住状況（2月28日現在）

3月8日HP更新

旧避難指示区域内の小高区および原町区の居住人口は、2月28日現在で4,343人となり、同区域内の住民登録人口（7,103人）に占める居住率は61.1パーセントになりました。

▶ 旧避難指示区域内の住民登録人口と居住人口の推移(2月28日現在)

https://www.city.minamisoma.lg.jp/material/files/group/11/kyojyujinnkousui_050228.pdf



▶ 避難指示区域別の世帯数と人口(2月28日現在)

https://www.city.minamisoma.lg.jp/material/files/group/11/kyojyujinnkou_050228.pdf



問い合わせ

復興企画部 被災者支援課

TEL 0244-24-5223



みなみそうまチャンネル

南相馬市



電話でのお問合せ

TEL:0244-26-5663

<http://www.minamisoma.tv/channel/>

今週の番組

番組内容 [3/3~3/10]

- 毎時00分～ オープニング&今週の番組
 02分～ 南相馬市長 3月 定例記者会見
 34分～ 青少年健全育成標語表彰式／花いっぱい運動
 45分～ Septeni Ad Creative株式会社×株式会社小高ワーカーズベース
 南相馬市協定締結式
 53分～ エブリバディ体操 足踏み体操
 54分～ minamisoma5.0 “ベンチャー輩出のまち” 編
 57分～ 気をつけろ “空き巣”
 59分～ リクエストアワーのお知らせ



みゆーまくん



浪江町からのお知らせ

介護サービス利用者負担の減免期間を引き続き延長します

【令和5年7月31日まで】

2月27日HP更新

介護サービスの利用者負担の減免措置が、引き続き延長されます

■延長期間：令和5年3月1日から令和5年7月31日まで

新たな「介護保険利用者負担額減額・免除認定証」は、対象となる人に2月下旬に郵送しています。手元に届かない場合はお手数ですが介護係までお問い合わせください。

注意 以下に該当する場合は対象外となります。

- 帰還困難区域以外の上位所得層の人（上位所得層とは被保険者個人の令和3年中における合計所得金額が633万円を超える人）
- 住民税未申告の人
- 被災証明書を持たない新規転入者

問い合わせ

介護福祉課 介護係

TEL 0240-34-0226

浪江町民の居住状況（2月28日現在）

【都道府県別】（福島県外）

【福島県内市町村別】

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
北海道	56	長野県	52	愛媛県	10	福島市	2,239	天栄村	1	小野町	11
青森県	35	岐阜県	18	高知県	5	会津若松市	182	下郷町	3	広野町	46
岩手県	36	静岡県	54	福岡県	21	郡山市	1,631	南会津町	7	檜葉町	21
宮城県	912	愛知県	34	佐賀県	5	いわき市	3,012	北塩原村	2	富岡町	28
秋田県	37	三重県	7	長崎県	11	白河市	258	西会津町	4	川内村	5
山形県	108	滋賀県	5	熊本県	6	須賀川市	139	磐梯町	3	大熊町	5
茨城県	954	京都府	31	大分県	5	喜多方市	17	猪苗代町	19	双葉町	-
栃木県	448	大阪府	64	宮崎県	10	相馬市	401	会津坂下町	19	浪江町	1,355
群馬県	132	兵庫県	21	鹿児島県	7	二本松市	919	会津美里町	9	葛尾村	5
埼玉県	649	奈良県	6	沖縄県	19	田村市	68	西郷村	112	新地町	80
千葉県	559	和歌山県	-	国外	14	南相馬市	1,877	泉崎村	7	飯舘村	2
東京都	796	鳥取県	-	合計	5,948	伊達市	102	中島村	2	県内	1
神奈川県	418	島根県	5	(前月 5,948)	本宮市	449	矢吹町	36	合計	13,535	
新潟県	281	岡山県	23		桑折町	124	棚倉町	7	(前月 13,558)		
富山県	14	広島県	8		国見町	24	埴町	3			
石川県	22	山口県	1		川俣町	50	石川町	5			
福井県	6	徳島県	1		大玉村	176	古殿町	1			
山梨県	37	香川県	5		鏡石町	7	三春町	61			
								避難者総数	19,483		
								(前月 19,506)			

浪江町HP「まちの話題」から

3年ぶり 田植え踊り奉納「安波祭」

2月19日(日)、苕野(くさの)神社において新型コロナウイルスの影響で中止していた安波祭が3年ぶりに開催され、神事や神楽の演奏、田植え踊りが奉納されました。この日は地域の豊漁・豊作、復興とともに、苕野神社の無事故再建に向けて祈願されました。

安波祭は海の安全や豊漁・豊作を願い、300年以上前から続く祭事で、県内外に避難している請戸芸能保存会の女性約20人が踊り手として集まりました。



浪江町で希望のカケラ拾い

2月22日(水)、浪江町内(国道6号沿い)において福島県郡山市出身の俳優・鈴木文健さんと浪江アベンジャーズが「希望のカケラ」拾いをしました。文健さんは、2020年1月から「ブンケン歩いてゴミ拾いの旅」で福島県内のごみ拾い旅のロケを行っており、集めたごみが福島県をきれいにするための「希望のカケラ」と呼んでいます。

浪江町でのごみ拾いではおよそ10袋の希望のカケラを集め、町をきれいにしてくれました。





双葉町からのお知らせ

町民の皆さまへ（町長メッセージ）

3月1日HP更新

東日本大震災から12年 ～復興の加速化元年～

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から3月11日で丸12年の月日が経とうとしています。

あれから十二支も一回りしました。

去年は双葉町にとって復興へのターニングポイントとなった年でした。8月30日に特定復興再生拠点区域の避難指示が解除され、町への帰還が可能となりました。9月5日からはJR双葉駅東側の役場新庁舎での業務を開始し、10月1日には住む拠点として駅西側に整備している復興公営住宅、再生賃貸住宅86戸の内、先行して25戸への入居を開始しました。

そして、本年2月1日には駅西住宅エリア内に双葉町診療所が開所しました。震災前、双葉町には二次医療機関としての双葉厚生病院をはじめ、一次医療機関として医科大学、歯科医院、調剤薬局があり医療環境に恵まれていた町でした。平成23年4月からは、大熊町の県立大野病院と双葉厚生病院が統合し、より高度な医療環境の充実を目指していたところでしたが、東日本大震災と原発事故により叶わぬものとなりました。町では復興まちづくり計画において、町への帰還に向けて健康不安を払拭するために医療施設の設置は不可欠であることから、診療所の整備を重点施策として取り組んでまいりました。このたびの町診療所の開設にあたっては、福島県厚生農業協同組合連合会のご配慮により、町民の皆さまにもなじみの深い双葉厚生病院の草野良郎医師と、鹿島厚生病院から看護師、事務職員を派遣していただいております。さらには、双葉クリニックの白籐正人医師にもご協力をいただいております。住民帰還が始まり、診療所の果たす役割は大きいものと期待しております。

さらに、駅西住宅エリアは、「なりわい暮らし」をコンセプトに電柱の地中化によるすっきりとした景観に、歩行者優先で高齢者に優しいつくりとし、みんなが集える緑あふれるエリアをつくってまいります。今後、さらなる住宅エリアの整備、商業施設、医療体制等の充実に取り組んでまいります。

次ページへ続きます 



1月15日から22日までの8日間にわたり、町立学校に勤務する英語指導助手(ALT)の出身地であるイギリス東部のキングストン・アポン・ハル市と、ビバリー町に友好都市推進事業に関する事前調査のため訪問しました。両首長には、訪問の意を伝え、ALTがこれまで双葉町の学校において子どもたちの英語指導に尽力されてきたことに感謝を表するとともに、これをご縁として今後、教育文化交流を基礎とした異文化交流による教育的価値を高めるため、子どもたちの交流につなげたいとの意向を伝え、書簡を手渡しました。また、ハル市内の学校、ブルーバードアカデミーを訪問しました。この度のイギリス訪問によりハル市、ビバリー町との国際交流事業につなげ、町として未来を担う子どもたちに国際感覚を身に付けさせたい考えです。

大震災から13年目となる今年は、卯年、飛躍の年です。復興まちづくり計画(第三次)の実現に向けて各種事業に取り組み、引き続き町民の皆さまの生活再建にも努めてまいります。

また、国は特定復興再生拠点区域外に「特定帰還居住区域」を新設し、令和5年度に双葉町、大熊町の一部地域で先行除染を始める方針ですが、引き続き帰還困難区域全域の除染を行うよう、粘り強く国に要望してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

3月に入り、春の訪れが感じられるようになりましたが、三寒四温で寒暖の差が大きい日が続きます。また季節の変わり目ですので引き続き新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底されるとともに、体調管理には十分気をつけてお過ごしいただきますようお願いいたします。

双葉町長 伊澤 史朗

双葉町HP「町長の活動状況」から

木製品贈呈式

2月21日

2月21日、駅西住宅において県立郡山北工業高校と勿来工業高校の建築科の生徒が作製したテーブル4卓が双葉町に贈呈されました。郡山工業高校からは明るく照らす太陽と月の間にある双葉町を描いたテーブルを、勿来工業高校からは、双葉ダルマと町章をデザインしたテーブルが2卓ずつ贈られました。

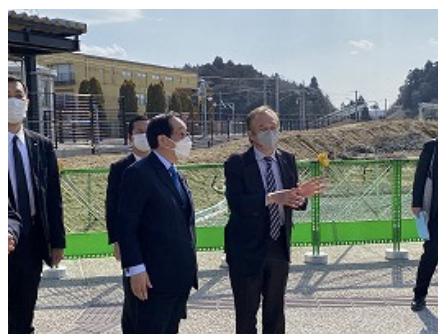
伊澤町長は、「贈呈いただいたテーブルは、集会所で活用し、町営住宅に入居されている方や、町を訪れた方にご利用いただきたいと思います。双葉町のロゴマークやダルマのデザインがあしらわれていて大変親しみを感じました。皆さんの細やかな心遣いに心が温まります」と御礼のあいさつを述べました。



復興大臣が町内を視察

2月18日

2月18日、渡辺博道復興大臣が町内を視察しました。伊澤町長は、町産業交流センター屋上から町内の状況を説明し、昼食を取りながら渡辺大臣と懇談した後、特定復興再生拠点区域内の駅西住宅、診療所などを案内し、特定復興再生拠点区域外の鴻草地区中野迫住宅団地を徒歩で歩きながら手付かずのままの状況を見ていただくとともに、継続した支援を強くお願いしました。



双葉町HP「町長の活動状況」から

参議院特別委員会が町内視察

2月13日

2月13日、参議院東日本大震災復興特別委員会から古賀之土委員長ほか委員11人が双葉町内を視察されました。

委員の皆さんは、JR双葉駅前周辺を車中から見学し、鴻草地区にある双葉地方広域市町村圏組合「聖香苑」の駐車場に降りました。伊澤町長は委員の皆さんに町の復興状況とこれまでの歩みについて説明し、その後、委員の皆さんとともに特定復興再生拠点区域外の鴻草地区中野迫住宅団地を徒歩で歩きながら特定復興再生拠点区域外の現状を説明しました。



双葉町診療所開所式

2月1日

JR双葉駅西側に整備を進めていた「双葉町診療所」が完成し、2月1日、来賓の方々や関係者など約30人が出席して開所式が行われました。

伊澤町長は「双葉町診療所は、医療が住居の必要条件になられる方、町内で勤務されている方々の医療機関として利用いただきたい。今後、名実ともに住民の安心の拠り所となる診療所を目指していく所存です」と式辞を述べました。

伊澤町長は関係者の方々とテープカットを行うとともに震災後初めて医療施設が開所したことを祝いました。



YouTube双葉町公式チャンネルから

ふたば空撮 2月22日撮影

福島県双葉町をドローンで撮影した映像です。
令和4年8月30日に一部地域の避難指示が解除された双葉町の様子をさまざまな角度で空撮しています。

▼今回の撮影場所

- 0:19 中野地区復興産業拠点
- 0:38 JR双葉駅東側
- 1:23 JR双葉駅西側

<https://youtu.be/u24UXDy0qyE>



双葉町民の避難状況（2月28日現在）

【都道府県別】（福島県外）

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	13	福井県	2	広島県	3
青森県	18	山梨県	14	山口県	3
岩手県	10	長野県	13	徳島県	-
宮城県	243	岐阜県	7	香川県	-
秋田県	12	静岡県	27	愛媛県	5
山形県	17	愛知県	12	高知県	-
茨城県	453	三重県	1	福岡県	9
栃木県	150	滋賀県	1	佐賀県	3
群馬県	37	京都府	13	長崎県	5
埼玉県	751	大阪府	9	熊本県	1
千葉県	159	兵庫県	2	大分県	4
東京都	357	奈良県	1	宮崎県	4
神奈川県	166	和歌山県	-	鹿児島県	12
新潟県	121	鳥取県	1	沖縄県	4
富山県	10	島根県	13	国外	6
石川県	11	岡山県	3	合計	2,706

(前月 2,704)

【福島県内市町村別】

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
福島市	226	鏡石町	15	広野町	36
会津若松市	41	天栄村	3	楡葉町	14
郡山市	605	下郷町	2	富岡町	11
いわき市	2,112	只見町	2	川内村	3
白河市	173	猪苗代町	4	大熊町	4
須賀川市	63	会津坂下町	12	双葉町	18
喜多方市	6	会津美里町	2	浪江町	6
相馬市	53	西郷村	30	葛尾村	1
二本松市	21	泉崎村	8	新地町	8
田村市	15	中島村	2	合計	3,906
南相馬市	263	矢吹町	23		(前月 3,913)
伊達市	14	棚倉町	14		
本宮市	37	埴町	7		
桑折町	4	平田村	4		
川俣町	1	三春町	31		
大玉村	11	小野町	1		

避難者総数

6,612

(前月 6,617)

東日本大震災に係る全国健康保険協会の 令和5年3月1日以降の対応について

協会けんぽおよび船員保険の加入者のうち、福島第一原発の事故に伴う警戒区域等の被災者にかかる、令和5年3月1日以降の医療機関における窓口での一部負担金(※1)の免除措置につきましては、次の区分に応じて取り扱うこととなりました。

なお、令和5年3月以降も医療機関等における窓口での一部負担金の免除措置の継続となる方には、更新した免除証明書を令和5年2月末にお送りしています。お手元に届かない場合は、お手数ですが都道府県の協会けんぽ支部までお問い合わせください。

対象区分	有効期限
現に帰還困難区域に指定されている区域の方	令和6年2月29日
次の区域等の方であって、上位所得層(※2)に該当しない方(※3) ・旧緊急時避難準備区域の方 ・特定避難勧奨地点の指定を受けていた方 ・旧帰還困難区域の方 ・旧居住制限区域の方 ・旧避難指示解除準備区域の方 ・旧特定復興再生拠点区域の方(令和5年9月30日までは有効)	

- (※1) 被保険者とその被扶養者が保険医療機関・保険薬局および指定訪問看護事業者で受けた療養に係る一部負担金をいいます。
- (※2) 上位所得層とは、事業主から受ける毎月の給料などの報酬の月額が、53万円以上の被保険者をいいます。
- (※3) 上位所得層から一般所得層(標準報酬月額50万円以下)に所得区分の改定が行われた場合は、改めて免除申請をしていただくことで所得区分の改定された月から免除措置の対象となり、一部負担金が免除されます。

【ご注意ください】

会社を退職するなどして保険証が変わった場合には、今回お届けした免除証明書は使用できなくなります。

変更後の保険証が、引き続き「協会けんぽ」から発行されている場合は、あらためて一部負担金の免除の申請をしていただき、免除証明書の交付を受けてください。

問い合わせ

全国健康保険協会(協会けんぽ) 新潟支部 TEL 025-242-0260

東日本大震災 黙祷及び献花

東日本大震災から12年を迎える3月11日(土)に、亡くなられた方々の鎮魂と、被災地の復興を願い、地震発生時刻の午後2時46分に合わせて黙とうを捧げ、献花を行います。

なお、新型コロナウイルス感染症対策をとって開催しますので、ご協力をお願いします。

- 椅子の間隔をあけて着席していただきます。
- マスク着用、手指消毒にご協力ください。
- 発熱や風邪症状などがある場合は、参加をお控えください。



●と き **3月11日(土)** 午後2時45分～3時

●ところ **総合福祉センター** 1階ロビー

●主催 三条市

●参加予定者 市内の避難者、三条市民ほか

※終了後も、当日の総合福祉センター開館時間内は献花していただけます。

避難先住所等の届け出について

東日本大震災に伴い避難されている方で、次のような場合は、全国避難者情報システム（避難者名簿）に登録されている内容を変更する必要がありますので、ご連絡ください。

- 転居したので住所が変わった（変わる予定である）
- 家族構成が変わった（子が進学などで転出、帰還した家族がいるなど）
- 避難生活が終了した（避難の意思を有しなくなった）

連絡先

三条市 福祉課 福祉・公営住宅係

TEL 0256-34-5405

三条市に避難している世帯数と人数(2023.3.8現在)

市町村名	世帯数	人数
小高区	14	34
原町区	3	3
南相馬市 計	17	37
浪江町	3	10
双葉町	1	3
郡山市	3	7
合計	24	57

発行/三条市総務部政策推進課 三条市旭町二丁目3番1号
Tel 0256-34-5511